

ゴミステーション拝見！



▲マナーの悪いステーション。燃えるゴミ燃えないゴミが混ざっており町指定のゴミ袋もほとんど使われていない。



▲マナーの良いステーション。きちんと分けられ町指定のゴミ袋で出されている。これなら収集も焼却もスムーズにできる。

▶ 長門地区清掃工場では

「今日は不燃物の日なのですが、一見して粗大ゴミとわかるものや可燃物が混じっています。これはクーラー、これはテレビ・・・こんな状態ですので私たちは手作業で選別しています。能率が上がらず手間がかかってたいへんです。もう一度出せるゴミのチェックをしていただき、その日を守ってもらいたいですね。」



◀これが油谷町から出た「燃えないゴミ」(7月17日)の収集日です。特に不燃物がひどいことが多いです。

ちよつとまっつて！ そのゴミの出し方 —見直したいゴミ出しのマナー—

ゴミ増加の一方で問題となっているのがゴミの出し方です。長門地区広域清掃工場によると油谷町はゴミ出しマナーは近隣市町に比べて良くないそうです。それは、燃えるゴミの中に燃えないゴミが混じっていたり、燃えないゴミの日などに粗大ゴミが混じっていたりするなど、分別して出すよう決められた日を守られていないのです。

指定日以外に出されたゴミは原則として収集されません。燃えるゴミ、燃えないゴミ、粗大ゴミは必ずそれぞれ指定されている日に出すようにしましょう。また、燃えるゴミを入れる袋は必ず町指定のゴミ袋で出すようにしてください。

収集日の朝出そう
特に夏場の生ゴミは腐りが早

く悪臭や野良犬などを呼び寄せるとになります。生ゴミに限らずゴミは収集日当日に出してください。

自分の自治会の ゴミステーションへ

最近よく見られるのが、通勤途中に他の自治会のステーションにゴミを置いていくケース。ゴミステーションは各自自治会で清掃や修繕などの管理がされています。また、自分の出すゴミに責任を持つ意味でも、ゴミは自分の自治会のステーションに出すのが基本ルールです。

◀ ゴミ収集の現場では

「指定日以外に出されたゴミはこうやって分別して置かなくてはなりません。燃えるゴミは燃えないゴミと混ぜて出すと大変です。燃えるゴミは燃えないゴミと混ぜて出すと大変です。燃えるゴミは燃えないゴミと混ぜて出すと大変です。燃えるゴミは燃えないゴミと混ぜて出すと大変です。」

